

**中央環境審議会自然環境・野生生物合同部会
生物多様性国家戦略小委員会(第1回)**

平成24年3月16日

**経済産業省
製造産業局生物化学産業課**

(独)製品評価技術基盤機構(NITE)の取り組み

- ◆ (独)製品評価技術基盤機構では、アジアの資源提供国と協力して微生物資源を収集、保存し、必要とする企業に提供
- ◆ 資源提供国に対し、技術協力を実施するとともに、収集した微生物資源から生じる利益を提供国に配分。**資源の利用国、提供国双方がメリットを得るスキームを構築。**

アジア諸国との二国間および多国間協力(ACM)

1

ガイドライン(ボン・ガイドライン)に基づく
アジア諸国の政府機関と二国間合意

2

技術協力
(資源探索等)

3

資源提供
(共有)

5

利益配分

<収集した微生物の例>



(独)製品評価技術基盤機構
(NITE)

<NITEの微生物保存施設>



<資源探索の様子>



4

資源提供

我が国産業界

NITEの二国間および多国間協力の取り組み

【二国間の取組み】

共同研究プロジェクト

インドネシア
2002年 MOU及びPA締結

ベトナム
2004年 MOU及びPA締結

ブルネイ
2008年 MOU及びPA締結

モンゴル
2006年 MOU及びPA締結

BRC間の協力

中国
2005年 MOU締結

タイ
2005年 MOU及びPA締結

※MOU: 二国間の覚書、PA: 共同研究契約

生物多様性条約を踏まえ、NITEが以下を実施。

- ◆ 遺伝資源の共同探索事業を展開
- ◆ 遺伝資源の有効活用のための共同研究を実施
(日本への遺伝資源の移転、交換等を含む)
※政府機関レベルでの遺伝資源の移転は、世界初
- ◆ 遺伝資源国への技術移転、人材育成等を実施

【多国間の取組み】



◆ NITEが中核となりアジア12か国と共に遺伝資源の保存と持続可能な利用のための「アジア・コンソーシアム」を設立（2004年10月設立）

<具体的な取組み>

- アジア生物遺伝資源機関ネットワークの構築
- 人材育成（キャパ・ビル）等

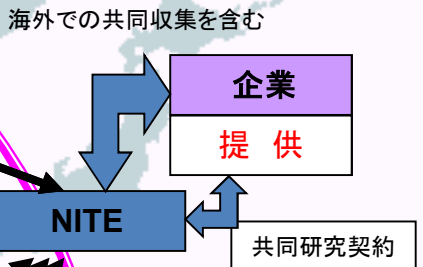
海外微生物探索事業の展開

アジアコンソーシアム (ACM)

- ① ACMの運営強化
- ② BRCネットワークTF
- ③ 人材育成TF
- ④ 微生物移動管理TF

今後の課題

- * タスクフォース(TF)の充実
- * 資源国機関の運営への参画促進
- * NITEのリーダーシップの継続
- * 名古屋議定書に即した我が国産業界への資源提供



H17: MOU締結

- * BRC間の協力
- * 微生物の交換
- * 機能解析
- * 人材育成

ミャンマー

ラオス

H16-18: 第1次

タイ

カンボジア

ベトナム

H16-18: 第1次
H19-21: 第2次
H22~: 第3次

企業研究者との現地共同探索

二国間協力の推進
(微生物の採集・分離・培養・同定・解析・保存・情報管理・相手国の人材育成・国内企業等への大量提供等)

H16: MOU締結、
H17: PA締結

- * BRC間の協力
- * 微生物の交換
- * 機能解析
- * 人材育成

インドネシア

H14-17: 第1次
H18-20: 第2次
H22~: BRC支援

ブルネイ

H20: MOUを締結

フィリピン

企業研究者との現地共同探索

モンゴル

H18-20: 第1次
H21-23: 第2次
H24~: 第3次

企業研究者との現地共同探索

韓国

NITE

共同研究契約

企業
提供

海外での共同収集を含む

菌株の流れ